



MJかけはし



働きながら資格取得が目指せる 准看護学院の魅力

幅広い世代の人と共に学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍

志願者・入学者の概況

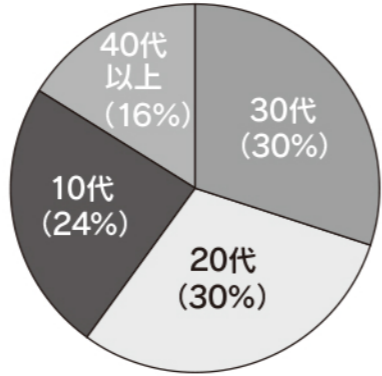
真壁医師会准看護学院は、平成27年5月に創立60周年を迎えました。この半世紀を超える歴史の中で、既に2121名の卒業生を送り出し多くの卒業生が地域医療の担い手として活躍しています。

当学院志願者を地域別にみると、当医師会管内である筑西市・下妻市・八千代町・桜川市出身者が多く、次いで隣接する結城市・古河市・常総市などの県西地域全般に及んでおり、つくば市・土浦市・笠間市・水戸市等、県南・県央地域からも少数ながらも毎年志願者がいます。更には県境に近い栃木県小山市、真岡市など、通学1時間圏内でアクセス可能な各地域に広がっています。

「社会人経験者のキャリア」

- ・医療関連施設でヘルパーとして従事していた人
 - ・介護・福祉系資格者が更にプラスワンの資格を求めて看護職資格を目指す人
 - ・保育園・幼稚園教諭等の異業種から資格取得を目指す人など
- 新たに資格者として医療分野での活躍を目指す、明確なモチベーションと旺盛なチャレンジ精神をもった方々が多く見受けられます。

志願者の年齢層(28年度実績)



少子化や不透明な経済状況の影響など、近年の社会の構造的問題も相俟って、20代・30代・40代の幅広い層の社会人経験者の増加傾向が顕著で、その占有率は76%と高くなっています。

卒業後の進路

資格取得後、数多くの先輩達が、地域医療の現場に携わっています。

- | | |
|---|--|
| 【就職先】 〈茨城県〉 三岳荘小松崎病院 山王病院 上の原病院 宇津野医院 大園病院 介護老人保健施設さくらがわ 介護老人保健施設豊浦 城南病院 武井眼科医院 田崎内科医院 筑波記念病院 特別養護老人ホーム敬心苑 とよさと病院 平間病院 | 〈栃木県〉 船橋レディスクリニック 芳香会病院青嵐荘療育園 ホスیتال坂東 〈千葉県〉 小山すぎの木クリニック 介護老人保健施設つむぎの郷 二宮中央クリニック 〈千葉県〉 小張総合病院 〈新潟県〉 新潟脳外科病院 |
|---|--|

- | | | |
|--|--|--|
| 【進学先】 〈茨城県〉 茨城県立中央看護専門学校 土浦看護専門学校 水戸市医師会看護専門学校 | 〈栃木県〉 宇都宮市医師会看護専門学校 栃木県立衛生福祉大学校 | 〈千葉県〉 千葉県立野田看護専門学校 〈神奈川県〉 神奈川県立衛生看護専門学校 |
|--|--|--|

【入学相談・学院見学随時受付】

入試の事や学院ライブ・奨学金・就職など、お気軽にお問い合わせください。学院見学の希望の場合は、事前に電話にてご予約の上、お越しください。

真壁医師会准看護学院
〒308-0841 茨城県筑西市二木成 827-1
TEL. 0296-22-7702

医療機関に所属して学ぶ

入学者の多くは、当医師会管内の医療機関を始めとして、通学可能な範囲の病院等に所属し、給与収入の他、奨学金等の支援を得ながら、学んでいる生徒が多数を占めます。実際に、医療機関で働きながら学ぶ事ができる准看護学院のメリットを、多くの生徒が享受しているのが現状です。

更に、県や市町村等の各行政の定める各種修学資金(茨城県看護師等修学資金、栃木県看護職員修学資金、ひとり親家庭高等職業訓練給付金、高等学校等就学支援金)等があり、条件が合えば在学時の経済的負担を軽減策の一つとして、これらの制度を活用する事も可能です。卒業後の進路は、所属する病院・医院等へ就職する生徒が約7割、正看等の看護学校への進学者が約3割となっており、自身の将来像を見据えたそれぞれの進路選択をしています。

高齢化社会の進展する今、看護の道を選ぶこと

人間は加齢するにあたって様々なリスクが高まり、病気や怪我をしてしまった際には、医療施設で適切な治療を受けなければなりません。高齢者が増えればそれに比例して医療の

現場に携わる人達も増えなければなりません。しかし、現状で既に浮き彫りになっていくのが医師や看護師の不足・偏在問題で、今後さらに高齢化社会が進むにつれて、この問題が顕在化することが予想されます。現在、筑西市・桜川市に於いて平成30年秋完成を目指して新たに2つの病院建設計画が進行している中、この県西地域においても、今なお慢性的な看護職者不足が解消されておられません。

少子高齢化の進展する今、看護職者の活躍するフィールドが大きく広がっています。看護職者は、人に信頼され多くの方から期待される職業の一つであり、自分自身の人生を豊かにし、社会的にも評価を受けているやりのある仕事です。当学院では、幅広い年齢層の皆さんが医療機関等に所属して働きながら学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍しています。

是非とも当学院で学び、資格者としてのファーストステップを踏み出してください。





左から60回生 千代清美(31) 中川涼太(23) 佐藤翔子(24) 熊谷幸(24)

MJmessage

2年生編

卒業まであと6カ月、様々な課題をクリアしてきた2年生は、資格試験合格に向けてよいよ臨戦態勢となります。「今頑張らずに、何時頑張る」の気概をもって確実な歩みを続けています。

Q 入学しての感想は?
募集要項を見たときに、中学卒業の人から「応募可」というのを見て、「自分が一番年上じゃないか」と不安でしたが、入学してみても自分より年上の方もたくさんいて安心しました。

Q 年齢が違っても一緒に学ぶのは大丈夫ですか?
同じ目標をもった人が集まっているので、みんな支えあって勉強できています。一人ひとり違った経験をさせてそれぞれに得意分野があるので協力できています。

Q 卒業後の進路は?
進学をして、看護師を生業の仕事として働ける職場を見つけていきたいです。

Q 入学を希望する方へメッセージをお願いします。
自分の中で抱えている心配事があったとしても、みんなで共有し解決策をアドバイスしあえる環境です。必ず人生のプラスになる良い時間を過ごせます。

千代清美

Q 入学しての感想は?
勉強は覚える事がたくさんあり、テスト前なども大変ですが、まずは准看護師の目標を叶えるために仕事も続けながら頑張っています。

Q 年齢が違っても一緒に学ぶのは大丈夫ですか?
自分より年代が上の方もいるので、いろいろな意見が聞けるので勉強になります。

Q 卒業後の進路は?
総合病院への就職を希望しています。色々な診療科でさらに多くのことを実践しながら覚えていきたいです。

Q 入学を希望する方へメッセージをお願いします。
不安のない学校生活を送るためには、入学後の学校での勉強に対する心構えや学費の面など、入学する前にしっかりと準備を整えることが大切だと思います。

熊谷幸

授業風景

准看護師として必要な知識・技術・態度を実習・講義を通して学びます。近年は男性の学生も増え、多彩な経歴の人たちが学んでいます。



仕事を終えてから登校する学生も、机の目を守りながら授業を受けています。



交差して患者役を体験し、患者さんの気持ちを感じます。



左から61回生 大島友美(37) 日井里枝(40) 鈴木由貴(28) 久保谷麻美(41) 飯塚圭子(37)

MJmessage

1年生編

入学して早6カ月、10月には重要なせしモニーの一つである戴帽式を迎え、実際の病院での「臨地実習」が始まります。ナースキャップの重みを感じて、看護の道がいよいよスタートです。

Q 前職と看護の道を選んだきっかけを教えてください。
筑波学園病院でメディカルクラーク(医師事務補助作業)をしていました。患者さんからの質問に答えられたり、自分で対応出来ることの幅を広げたいと思うようになり、今後20〜30年働くことを視野に、手に職をつけたいと思い、当学院への入学を決意しました。

Q 入学してみたいかがですか?
入学するまでは自分が一番年齢が上かなと不安に感じていましたが、同じ位の年代の方もいて安心したのと、自分の子供の年齢の方もいて、お互い刺激しあいながら学んでいます。

Q 入学を希望する方へメッセージをお願いします。
動きながら学べるというのがメリットだと思っておりますが、動きながら学んでいくことが大切だと思います。

Q 入学しての感想は?
一度社会に出てから再び勉強する事になって、不安もありましたが、実習などを通して学んだ事を理解し、つながっていく感じは新鮮です。学校に入るときに周りからは忙しくて大変だよと言われて心配もしていましたが、今はより目的意識が高まり、充実感の方が上回っています。

Q 年齢が違っても一緒に学ぶのは大丈夫ですか?
自分とは違う視点で物事を考えられる方の意見はとてもためになります。

Q 卒業後の進路は?
所属の病院への就職を希望しています。知識・技術を身につけて、ゆくゆくは産婦人科で働いてみたいと思っています。通信教育などで看護師の資格取得も検討しています。

Q 入学を希望する方へメッセージをお願いします。
勉強面では、目標を達成することを強く意識して自主的に学ぶことで、更に理解が深まり、楽しささえ感じるようになります。学校と仕事、家庭を両立させるために、生活面や経済面で少しでも余裕がもてるよう、早めの環境づくりを進めて準備されることをお勧めします。

久保谷麻美

Q 前職と看護の道を選んだきっかけを教えてください。
専門学校で介護福祉士の資格を取得してから20年介護の職を経験してきました。腰を痛めてしまい仕事を休職していたときに、以前の同僚が、看護師の資格を取得したというのを聞いて、私も元々夢だった看護師として働くことをあきらめたくないと思うようになりました。

Q 入学してみたいかがですか?
勉強時間の確保など、テスト前には職場の仲間にも助けてもらい調整してもらっています。ついていくのが大変なこともあります。やりたかったことなので日々楽しく勉強できています。

Q 入学を希望する方へメッセージをお願いします。
准看護学院に通うことになって、社員からパートになったので経済的には大変ですが、働きながら学ぶ人に対する奨学金制度・助成金制度を活用できるのは大きなメリットです。

日井里枝

Q 前職と看護の道を選んだきっかけを教えてください。
勤めていた会社が倒産したときに、これから必要とされる介護の道に進みました。ヘルパー2級の資格を取得して10年働いていきましたが、現場で看護師さんと連携しながら一緒に働いていて、自分も医療行為も行えたらなと思い看護師の資格取得を考えました。

Q 入学してみたいかがですか?
勉強内容を覚えるのに大変なことありますが、学校という場所夢に向かって進んでいる実感があるので、将来のことを考えながら進むことができていると思います。

Q 入学を希望する方へメッセージをお願いします。
年齢や入学前の職業が違っていても同じ目標をもった仲間と、資格取得に向けて切磋琢磨しながら学べますので是非入学してください。

Q 前職と看護の道を選んだきっかけを教えてください。
子どものころ大好きだった保育士の先生にあって、保育士の職に就き6年間働いてきました。働き始めは仕事で精一杯で周りを見る余裕がなかったのですが、年数が経ち、周りを見る余裕が出てきたときに、もう一つの夢だった助産師の職もあきらめたくないと考えるようになりました。

Q 入学してみたいかがですか?
オープンキャンパスへ行行って看護学校へ行くかどうか迷いましたが、今は色々なキャリアをもった方々から刺激されることも多く充実しています。

Q 入学を希望する方へメッセージをお願いします。
産婦人科で看護助手として働いていますが、勉強に頑張ることがたくさんあります。職場の先生や先輩方も応援していただいています。

鈴木由貴



大島友美